

## 社員の皆さん、元旦からの出勤お疲れ様です！！

### 今年も働きやすい職場にするため社員の声を挙げましょう！

あけましておめでとうございます。この年末年始は大晦日・元旦・1月2日と「日勤職場」としては従来無かったパターンでの出勤たいへんお疲れ様です。

会社は、昨年11月3日の総点呼で「11月に皆さんが日曜出勤をしてもらうことで臨時列車を出すことができた」「正月三が日も出勤予定をしている」と所長訓示の中で言ったり、東京交番検査車両所の所内誌『おおい』12月号でも「12月27日から1月5日の10日間で対前年プラス100列車を走らせ約10億円の稼ぎになる」「これまでの慣例（元旦出勤など従来無かった）を一步踏み出して行動していただく」などと東交両の所長が述べています。また、来所した会社幹部の訓示などでも「稼働日調整のおかげで」とか「よくやってくれている」などと述べています。

私たちは、昨年10月に1回と11月に3回「日曜出勤が指定」されたことを受けて、私たちの所属する労働組合を通じて10月22日関西支社に申し入れを行いました。しかし、関西支社は11月12日に「この件は労使協議の事柄に当たらない」として労使協議に応じませんでした。その後も現場段階も含めて社員に対しての詳細な説明はありません。

私たちが行った「申し入れ」の中に「向う3か月程度の休日予定を社員に明らかにすること」という項目があります。もし「業務上日曜出勤等がどうしても必要」だとしても、あらかじめある程度のスパンで「休日予定」がハッキリしていれば「社員個人のスケジュール」を調整することができるようになります。しかし会社は、11月に入って12月分の年休申込み簿に1月5日までの申し込みをさせていながら、1月5日までの「休日予定」ですら明らかにしません。こういう姿勢で会社が「皆さんよくやってくれている」とだけ言われても社員には伝わらないのではないのでしょうか。

いずれにしても10月10日に貼り出された「休日予定」で11月に3回もの「日曜出勤」があることについて、社員が多く「疑問の声」を挙げたから総点呼・他でいろいろと「フォロー」したのであって、もし誰も何も言わなかったら「正月の出勤」を含めて当たり前のように淡々と流されていたかもしれません。

社員の皆さん！今年も働きやすい職場のため社員の声を挙げましょう！！